

学校だより

令和4年度第1号
令和4年4月28日発行

地域に開かれた学校づくり

校長 川村 泰弘



附属学校園では、一昨年12月に校是「結び紡ぐ」(裏面)を制定し、幼児児童生徒が自らの価値に基づいて自律的に判断、行動しつつ、多様性を受容しながら新たな価値観を醸成しうる教育を目指すこととしました。この校是制定の背景には、多様性を尊重し価値を共有する「共生社会」の実現があります。

本校では、「地域に開かれた学校づくり」を学校経営の重点に掲げ、これまで、スポーツ庁委託事業によるスポーツ活動や、造形活動をはじめとする表現力を高める教育、キャリア教育の一環として地域での清掃活動や喫茶サービス、地域の学校との交流及び協同学習等に取り組んできました。

このような取組は、本校の教育目標であります「子どもたちの積極的な社会参加」や、「共生社会」の実現を目指した附属学校園の校是とも密接につながるものであり、今後も大学や関係機関と連携しながら「地域に開かれた学校づくり」を推進してまいりたいと考えています。

コロナ禍で、まだ地域との連携を進めるうえでの制約がありますが、ICT(情報通信機器)等も活用しながら、地域資源を活用した学習などを計画的に進め、子供たちの生きる力を育てていきたいと思っております。

保護者の皆様には、今後とも本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

4月15日 父母の会による雪囲い撤去



4月15日(金) 小雨が降る寒い日でしたが、父母の会のみなさんが、草木を雪から守ってくれた囲いの撤去をしてくださいました。正面玄関の周りが、一気に春めきました。

4月15日 父母の会 役員会



新年度の活動に向けた話し合いをしました。



校長式辞



学部長告辞



児童生徒代表のお祝いの言葉は、あらかじめ撮影した映像で行いました。



令和4年4月9日
弘前大学 50周年記念会館において
令和4年度の入学式を行いました。

校是「結び紡ぐ」

校是:その学校設立の根本精神を表す言葉

校是制定趣意

弘前大学教育学部附属学校園運営会議は、教育学部及び教職大学院と共に、理想的な社会の形成者の育成を目指し、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校が一体となり、一貫した教育を推し進めることを決意し、ここに校是を制定する。

我が国における教育の目的は、人格の完成を目指すこと、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた、心身ともに健康な国民を育成することである。

これまで我が附属学校園は、この目的の達成に向け、不断の努力を重ねてきた。しかし、あらゆる事柄が地域、国境を越えて、世界規模で結びつきが深まる時代となり、これまでに無い、多様な価値観と共に、社会的、教育的課題が出現してきた。このことを踏まえれば、今後の附属学校園の教育の在り方を今一度再考し、時代に左右されない新たな指針を示す必要性に迫られていると言えよう。

今後、さらに多様性の増す時代にあっては、異なるものを排斥するのではなく、逆に多様なものを融合し、新たな価値の創造を基に社会を構築してゆくと考えるべきであろう。そして、そこで生まれる新たな課題も、多様であることを強みに変えることで、想像力を持って柔軟に対応し、解決することができるであろう。すなわち、人種、信条、民族、国籍、性別、性的志向・性自身、容姿、障害、その他、子に由来する一切の差異を受容し合える社会、言い換えれば、誰も見捨てられない、追い出されない、生きていることそのものの価値を大切にできる、そのような精神的基盤に裏付けられた社会が理想と考えられよう。

このような理想的社会の構成員となる幼児・児童・生徒を育成する本附属学校園には、自らの価値に基づいて自律的に判断、行動しつつ、多様性を受容しながら新たな価値観を醸成し得る教育の在り方が求められよう。

今後、弘前大学教育学部附属学校園は教育の目的の達成に向け、これまでの成果を礎としつつ、人を、学びを、学校、家庭、地域を結び、そして未来へと紡ぐ教育を本附属学校園の理念とし、教育学部及び教職大学院と共に、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校が一体となり、一貫した教育を推進することとする。

よって、ここに校是「結び紡ぐ」を制定する。

2020年12月7日

弘前大学教育学部附属学校園運営会議

今月のいいね!



学校だよりでは、父母の会の広報誌「とみの」や学部・学級通信、本校ホームページと同様、本校の教育活動をたくさん紹介します。次号からは、別途配布していた月行事予定を学校だよりとして掲載することにし、

子ども達の笑顔とともにお届けします。今年度もどうぞよろしく願います。 <文責:教頭>

この春入学した小学部1年生の3人です。真剣な表情で「かず」の学習に取り組んでいます。